

主役は俺だー 2023年秋①

■宮崎大地（みやざき・だいち） 北海道大 WR/P 4年

宮崎の脚力を強烈にアピールしたのが、昨年の道学生選手権の北海学園大戦だった。全勝同士の顔合わせで優勝決定戦となったこの試合。開始早々にインターセプトリターンTDで先制を許した北海道大だったが、続くキックオフでリターナーに入った宮崎が、78ヤードの激走でリターンTDを決め、あっさりと同点に追いついた。2020年、21年と惜敗したライバルに傾きかけた試合の流れを引き戻し、その後のエースRB工藤輝一（当時4年）の快走と、3年ぶりの北海道王者奪還につなげたプレーだった。

神戸市の星陵高でアメフトを始め、高校時代のポジションはWRとLB。兵庫県は関西学院高など強豪がそろったアメフトどころ。その強豪高を破って関西大会に進んだ経験を持つ。「高校時代のライバルが関西学生一部で活躍しているので自分も」と、一浪して入学した北海道大でもアメフト部へ。179センチ、80キロのバランスのとれた体とスピード、キャッチ力を武器に1年生からWRで出場して新人賞。去年は兼任するパンターでもベストイレブンに選ばれた。ただし、本人は3年間に満足していない。「キャッチ力は高まったと思うが、勝負所に強い北海学園大の選手と比べると、まだ北海道を代表する選手になっていない」と言う。

迎える最終学年の今季。「自分は北海道の基準でプレーしない」と強気の言葉も飛び出した。「ユーチューブで見る関西の友達が、明らかにうまくなっている。常に関西を意識してプレーしたい」と決意する。攻撃ユニットのリーダーとして「目標は全道優勝の先の全日本大学選手権で中京大と東北大を倒すこと」と力を込めたうえで、今季から先発する3年生QBのバックアップも心がける。「自分も先輩に支えられてきた。4年生になり、ぐいぐいと引っ張っていきたい」と宣言した。

〈プロフィール〉

2000年12月29日、神戸市生まれ。経済学部経済学科。「WRだけじゃなく、PもKRもします。見どころたくさんです」と胸を張る。7月の北海学園大とのオープン戦でもRBに入り2TD。万能型プレーヤーの本領を発揮した。

